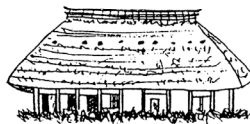


The Saitama Municipal Urawa Museum

みんながえんだより



第22号

2002. 3

of Traditional Architecture News No.22

浦和くらしの博物館民家園館報

晴れやかに

旧綿貫家住宅・上棟式



▲引き網を引く子供たち



▲木遣り、引き網によってあがっていく棟札

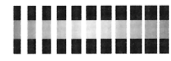


▲餅撒き



## 旧綿貫家住宅移築復原の進行状況

— 1 —



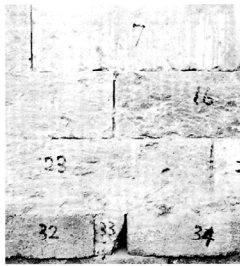
晴天に恵まれた去る2月16日、おおぜいの市民の皆様が見守る中、旧綿貫家住宅の上棟式が執り行われました。解体から上棟式当時までを紙面で振り返ってみましょう。

### ● 解体

解体工事は一昨年の秋に始まりました。解体といっても取り壊すのではなく、移築復原するための解体なので、梁や桁の組み方の調査や、柱や梁などの位置を記した「番付」と呼ばれる番号をふりながら解体していきます。経線に「いろはにほ…」を、緯線には「一二三四五…」とふります。ですから「ろの五」の柱であれば、おのずと立つ場所が決まってきます。また、床材や基礎の大谷石にも番号がつけられています。



▲「との六」の番付



▲大谷石（基礎部分）

### ● 解体材仮組

解体された材は調査され、仮組みが行われます。使用に耐えられない材や明らかに不足している材を補っていきます。右下の写真は建物周囲の柱です。柱の表面がデコボコしているのが分かります。これをスサカケと呼びます。柱を包み込む土壁のため、普通は柱と柱の間に組む小舞（細竹を縦横に組み、壁の下地とする）を柱の外側に組むために入れた切れ込みの跡です。復原に際して、これらの柱は損傷が激しいため利用されず、新しい材で柱を作り直しました。



### ● 基礎

地盤を突き固めた上に、大谷石が組まれ土台が回っていましたが、移築先の民家園は軟弱地盤のため、基礎を受ける杭を打ち、鉄筋コンクリート基礎の上に土台をまわしました。大黒柱は基礎杭の上に礎石を据えつけ、直接柱を立てる「石場立て」

になっています。

### ● 上棟式

土台がまわされると、いよいよ材を組み上げていきます。これを建前といい、この建前の最後に頂部に棟木をあげます。棟を上げるので、棟上げまたは上棟という言葉を使いますが、棟上げが建前の最後の工程なので建前とも呼ばれます。



▲材を組み上げる



▲桁を組む

普通一日で組み上げて上棟式を執り行うのですが、民家園では上棟式前日までに棟を上げてしまい、当日は施主、施工者、紀年などを書いた棟札を引き上げる形で執り行いました。

当日の午前中に棟木周辺に祭壇を設置し、お神酒、餅、塩などを供え、また弓と矢、ヒグシ（弊串）と呼ばれる角材も飾りました。

上棟式は大工の棟梁が取り仕切ります。棟梁による祝詞の奏上に始まり、浦和木遣り保存会の皆様の木遣りが披露される中、子供たちを含む市民の皆様の手によって引き綱が引かれ、棟札を祭壇まで引き上げました。引き続き、棟木を木槌で打つ「槌打ち」、建物の四方に塩、水、餅を備える「四方固め」、そして皆様お待ちの餅撒きを行いました。最後に「建て納め」としてもう一度木遣りを披露し、三本締めで上棟式は終了しました。



▲槌打ち（棟梁のかけ声により棟木が打たれる）



## 復原前の一仕事

## — 軟弱地盤の強化 —



浦和くらしの博物館民家園は、いわゆる見沼田んぼの中ほどにあります。しかし見沼田んぼとは名ばかりで、水田は一部の地域でしか見ることができません。かつては約12kmにも及ぶ水田が広がっていましたが、現在は主に畑や公園などの公共施設に利用されています。

見沼はるか昔、今から約6000年位前の縄文時代前期には海でした。地球気候の温暖化により、東京湾の海水が奥まで入り込んだためです。その後、気候の寒冷化により海が後退し陸地化していますが、見沼は取り残され、ヨシやマコモの茂

る沼に変わっていきました。江戸時代中期に干拓され、いわゆる見沼田んぼが作られました。

地質を調べてみても、洪積層という基盤の上に縄文海進の折りにたまった暗灰色粘土層、沼の時代の泥炭層、火山灰など見沼の歩んだ歴史が層をなしています。

しかし、これらは軟弱な地盤を形成しているため、塗り屋造りの旧綿貴家住宅を復原するには地盤の強化が必要になり、杭を20本打ち込み、しっかりした基盤を作りました。民家園に復原されている農家の建物にはみられない一手間です。



▲打ち込まれる杭



▲杭打ち



▲地中梁

### 浦和くらしの博物館民家園・探鳥会の記録

平成13年度の出現鳥

△は参考記録

出現鳥	月日	4/1	6/3	10/7	12/2	2/3	出現鳥	月日	4/1	6/3	10/7	12/2	2/3	出現鳥	月日	4/1	6/3	10/7	12/2	2/3
カイツブリ				○	○		イソシギ				○			オオヨシキリ			○			
カワウ		○	○	○	○		タシギ		○					セツカ			○	○	○	
ゴイサギ					○		ユリカモメ		○			○		シジュウカラ		○	○		○	
ダイサギ		○		○			キジバト		○	○	○	○		メジロ		○			○	
コサギ		○		○	○		カッコウ			○				ホオジロ		○	○	○	○	
アオサギ		○	○	○	○		ツツドリ				○			アオジ		○			○	
マガモ				○			カワセミ		○	○	○	○		オオジュリン		○				
カルガモ		○	○	○	○		コゲラ		○			○		カワラヒワ		○	○	○	○	
コガモ		○		○	○		ヒバリ		○	○	○	○		シメ					○	
オナガガモ				○			ツバメ		○	○				スズメ		○	○	○	○	
ハシロガモ				○			イワツバメ		○	○				ムクドリ		○	○	○	○	
ホシハジロ				○			キセキレイ					○		オナガ		○	○			
キンクロハジロ				○			ハクセキレイ		○	○	○	○		ハシボソガラス		○	○	○	○	
オオタカ				○	○		セグロセキレイ		○		○	○		ハシブトガラス		○	○	○	○	
チョウゲンボウ		○	○	○			ヒヨドリ		○	○	○	○		オカヨシガモ		○				
コジュケイ		○	○		△		モズ		○	○	○	○		コアシサシ			○			
キ		○	○	○			ジョウビタキ		○			○		コヨシキリ			○			
バン		○	○	○	○		ノビタキ				○			ヨシゴイ			○			
オオバン				○	○		アカハラ					○		コアアシシギ				○		
コチドリ		○	○	○			シロハラ					○		ヒドリガモ				○		
タゲリ					○		ツグミ		○			○								
アオアシシギ				○			ウグイス		○			○								
合							計							38	30	38	37+1△	-		